

PACIFIKMELTINGPOINT



Régine Chopinot In Situ Osaka

感性と知性を刺激する大阪大学のラボカフェスペシャル
ワークインプログレス／プレゼンテーション

●振付 Régine Chopinot ●出演 Julien Lameka Nehemia
Iosefa Enari, Tupe Lualua, Drengène Hnamano
Zelue Sailuegeje, Ixepe Sihaze, Epiatrë Wawine
Régine Chopinot, Omu-tone, 北澤香, 那須誠, 富田大介

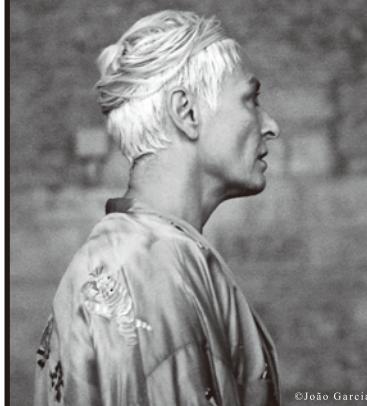
●ゲスト 梅原賢一郎, 山城知佳子 ●カフェマスター 本間直樹

2013年9月16日(月・祝)

14時-17時(13時30分開場)atアートエリアB1

Régine Chopinot レジーヌ・ショピノ : Cornucopiæ - the independent dance -

フランスでの30年のキャリアにおいて、ヌーヴェルダンスの創成から発展に深く関わり、1986年より国立振付センター（ラ・ロシェル市）の芸術監督を務める。22年間、国内屈指の振付センターを担う一方、90年代より硬直し始めたクリエイションの制度化や00年代の商業化の流れには強く抗し続けてきた。デザイナー、ジャン=ポール・ゴルチエとのコラボレーションが話題となった後は、コンテンポラリーダンスを大自然のリズムや諸要素と突き合わせ、ヨガをはじめとする古代からの複合的な身体の学と実践に力を注ぐようになる。2008年、自身の独立カンパニー「Cornucopiæ」を創設。近年は、運動する身体への探究を、（口承など）語り継ぎの文化にある口語の力との関係から問い合わせ、拡張させ、ニュージーランドや日本、ニューカレドニアにおいて、研究と創作のプロジェクト PACIFIKMELTINGPOT に取り組んでいる。



©João Garcia

PACIFIKMELTINGPOT / In Situ Osaka

9月16日(月・祝)14時-17時(13時30分開場) [定員100名, 無料] 会場 アートエリアB1

予約: pacifikmeltingpot@osipp.osaka-u.ac.jp ※お席に限りがございますのでご予約をおすすめ致します。

感性と知性を刺激するラボカフェスペシャル : « In Situ Osaka » — ワークインプログレス／プレゼンテーション —

今回の「ラボカフェ」は、R・ショピノの PACIFIKMELTINGPOT に大阪大学大学院国際公共政策研究科が参画したスペシャルヴァージョン。サモアン、カナック族、日本人のパフォーマーが阪大のアッセンブリーホールに集まり、音と声と身体をメディアに多文化共生と個の記憶をめぐるリサーチワークを実施。その果てしなき探究の断面を、ワークインプログレス／プレゼンテーションとして公演します。一時間のパフォーマンスの後には、出演者とオーディエンスとのランコントル（ポストパフォーマンストーク）、および振付家 R・ショピノとゲストスピーカーの対談を予定。日本の身体文化の古層を探る芸術学者と、「沖縄」を独自に掘り続ける美術家・映像作家を交えながら、この試演についてじっくりと話し合います。〔「In Situ Osaka」コーディネーター 富田大介〕

タイムスケジュール

- 14時～ パフォーマンス
- 15時～ ランコントル（ポストパフォーマンストーク）
- 16時～ 振付家とゲストスピーカーとの対談

振付 : Régine Chopinot

出演 : Julien Lameka Nehemia, Iosefa Enari, Tupe Lualua, Drengène Hnamano, Zelue Sailuegeje, Ixepe Sihaze, Epiatré Wawine, Régine Chopinot, Omu-tone (Chang-Nong, TKO, わかめーる), 北澤香, 那須誠, 富田大介

ゲストスピーカー : 梅原賢一郎, 山城知佳子

カフェマスター : 本間直樹

通訳 : 東村紀子

主催 : 大阪大学大学院国際公共政策研究科 (OSIPP)

稻盛財団寄附講座, アートエリア B1【大阪大学 + NPO 法人ダンスボックス + 京阪電気鉄道(株)】

共催 : 大阪大学 21世紀懐徳堂

企画制作 : 富田大介, NPO 法人ダンスボックス, 大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター (CSCD)

制作協力 : NPO recip [地域文化に関する情報とプロジェクト]

通訳協力 : 大阪大学

助成 : 平成 25 年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

※本公司は、リサーチとしての芸術祭をコンセプトにした「劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業—声なき声、いたるところにかかる声、そして私の声芸術祭—」(平成25年度9月～3月)の一環として行われます。

プロフィール

■ ゲストスピーカー : 梅原賢一郎 (うめはら・けんいちろう)

1953年、京都市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻は、美学・芸術学。現在、京都造形芸術大学教授。芸術や宗教について、身体を軸に、新しい視座から思索する。主な著作に『カミの現象学—身体から見た日本文化論—』(角川書店、2003)、『感覚のレッスン』(角川学芸出版、2009)、『肉彩』(思潮社、2012)、編著に『不在の空—「いま・ここ」を生きた女性の肖像—』(角川学芸出版、2011)がある。

■ ゲストスピーカー : 山城知佳子 (やましろ・ちかこ)

1976年、沖縄生まれ。映像作家、美術家。

主な参加展覧会に、MAM プロジェクト 018 : 山城知佳子個展「肉屋の女」(森美術館ギャラリー 1、2012)、ニュースナップショット 日本の新進作家展 Vol.9 [かがやきの瞬間] (東京都写真美術館、2010-11)、恵比寿映像祭 「～歌をさがして～」(東京都写真美術館、2010)、沖縄・プリズム 1872-2008 (東京国立近代美術館、2008)などがある。

■ カフェマスター : 本間直樹 (ほんま・なおき)

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、同大学院文学研究科准教授。コミュニケーション論を軸に、臨床哲学の試みとして、哲学対話の方法論と実践、こどもの哲学、身体論ほか、映像、音楽コミュニケーションの実践的研究に取り組む。2005年に臨床哲学の仲間たちと CaféPhilo (カフェフィロ) を創設、哲学カフェなどの対話活動を推進する。主な業績として、『ドキュメント臨床哲学』(共編著、大阪大学出版会、2010)など。

アクセス



「文化・芸術・知の創造と交流の場」アートエリア B1

(〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1)

京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース (地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分) 「なにわ橋駅」①出入口が最寄りとなります。直通のエレベーターはございませんので、車いすでお越しの場合は、あらかじめアートエリア B1 までご連絡いただきますよう、お願い致します。

会場に関するお問い合わせ : アートエリア B1

TEL / 06-6226-4006 (12:00～19:00)

※ 月曜(祝日の場合は翌日)休館

ラボカフェに関するお問い合わせ :

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

TEL / 06-6850-6632 (平日 9:00～17:00)

「ラボカフェ」とは、カフェという環境装置をラボラトリー(実験室)的に用いて、大阪大学が社会の様々な組織とコラボレーションしながら、主題に応じた研究・開発を繰り広げるプロデュース事業です。



CORNUCOPIAE
THE INDEPENDENT DANCE



designed by furuyuki